FlashGO FG-MPCAX　取扱説明書

対応パソコン・OS

標準でPCMCIAスロット（Type II）を装備しているパソコン
Windows 98/Windows 2000/Windows Me/Windows XP
Mac OS X以降

対応メモリーカード

スマートメディア
SDカード
mini SDカード（専用のアダプターが必要です）
マルチメディアカード
メモリースティック　/　メモリースティックPRO
メモリースティックDuo（専用のアダプターが必要です）　/　メモリースティックPRO Duo（専用のアダプターが必要です）

* mini SDカードやメモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duoをご使用の際は、必ず専用のアダプターをご使用ください。アダプターを使用せずに本製品に挿入しますと、正常に動作できないほか、誤動作やデータの消失・故障の原因となりますのでご注意ください。
* 対応メモリーカード以外はご使用になれません。

ご案内

弊社ホームページより、本製品専用のメモリーカードフォーマットソフトをダウンロードいただけます。（メモリーカードフォーマットソフトはWindows専用です）

イメーションホームページ　http://www.imation.co.jp/

免責事項

* 本製品の使用によるデータの損失、破壊については弊社は一切の責任を負いません。
* 本製品の使用による二次的な損失（利益機会の損失や復旧等にかかる損失など）については責任を負いません。
* すべてのパソコン・パソコン周辺機器・ソフトウェア・メモリーカードでの動作を保証するものではありません。

ご注意

* パソコンのPCMCIAスロットは、仕様により「書込み禁止」を検出できません。メモリーカードの「書込み禁止」を設定するとメモリーカードの内容は保護されますが、この状態でメモリーカードへのデータ書き込みやデータ消去を行おうとすると、パソコンがしばらく無応答になったり、実際と異なったエラーが表示される場合があります。
  大切なデータを保護するためにはメモリーカードの「書込み禁止」を設定することを推奨しますが、この場合はメモリーカードへのデータ書き込みや消去を行わないで、読出しのみを行うようご注意ください。
* 本製品は著作権保護（マジックゲート・セキュアデジタルなど）には対応しておりません。本製品上で著作権保護対象データを操作・編集・コピー・移動すると元のデータが使用できなくなる恐れがありますのでご注意ください。
* データの消失・破壊の恐れがありますので、データの読出し・書込み中は本製品をパソコンから外したり、メモリーカードを取り出したりしないでください。思わぬトラブルを防止するため、メモリーカード上のデータを直接操作・編集せず、一度データをパソコンのハードディスクにコピーしてからご使用いただくことを推奨いたします。
* ご使用上の疑問・問題が発生しましたら、ご使用になるパソコン・デジタル機器（携帯電話など）・パソコン周辺機器・ソフトウェア・メモリーカードの取扱説明書もご確認ください。
* 絶対に異物や、本製品が対応していないメモリーカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
* 本製品を分解したり、変形させたり、強い外力を与えたりしないでください。故障の原因となります。
* 本本製品をPCMCIA以外のスロットに接続しないでください。故障の原因となります。

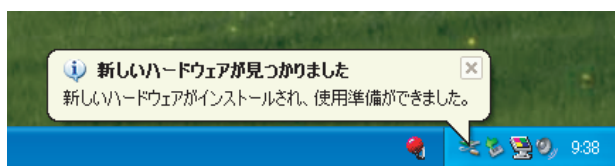
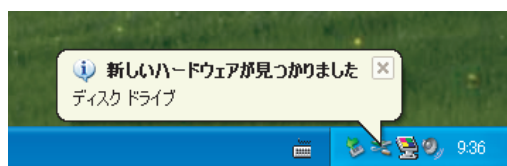
1. Windowsでの使用方法

必ずメモリーカードを本製品に差し込んでから、本製品をPCMCIAスロットに差し込んでください。本製品を単体でパソコンのPCMCIAスロットに差し込み、メモリーカードを後から本製品に差し込むと、メモリーカードは正常に認識されません。

(1)初めて本製品をご使用になる場合

本製品にご使用になるメモリーカードを差し込んでから、パソコンのPCMCIAスロットに差し込んでください。
「新しいハードウェア」のウィザードが起動し、自動的に認識され使用できるようになります。(下図はWindows XPの場合です。Windows 98/2000/Meでは表示が異なります。また、Windows 98/2000/Meでは「使用準備ができました」の表示はされません)一度この作業を完了すると、以後はすぐ使用できるようになります。(違う種類のメモリーカードを初めて使用する場合、再度「新しいハードウェア」のウィザードが起動する場合があります。この場合もウィザードの終了までお待ちください)

＊メモリーカードを差し込む際は、メモリーカードを差し込む向きや裏表を間違えないよう本製品のラベル表示を参考に行ってください。裏表を間違えて差し込むと本製品を破損する恐れがあります。

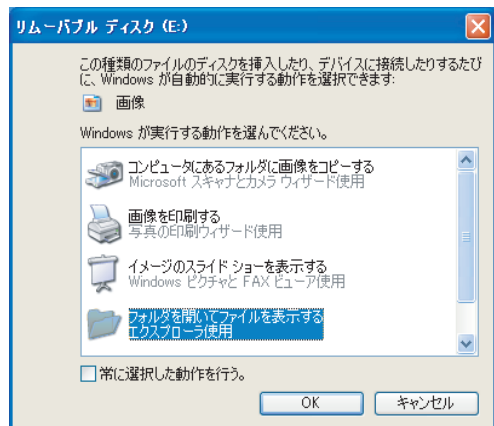
＊miniSDカード、メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duo、RS-MMCをご使用になる場合は、必ず専用アダプタを使用して標準のメモリーカードサイズでご使用ください。アダプタを使用しないとメモリーカードが取り出せなくなったり、本製品を破損する恐れがあります。

ご注意

＊PCMCIAスロットは差し込む向きが決まっています。差し込む向きを間違えますとパソコンのPCMCIAコネクタや本製品の破壊・故障の原因となりますのでご注意ください。(特に縦にPCMCIAカードを挿入するタイプの場合はご注意ください)

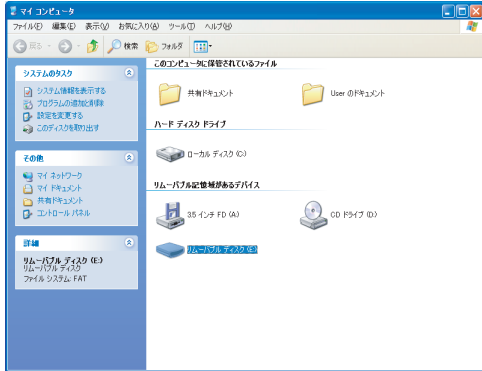
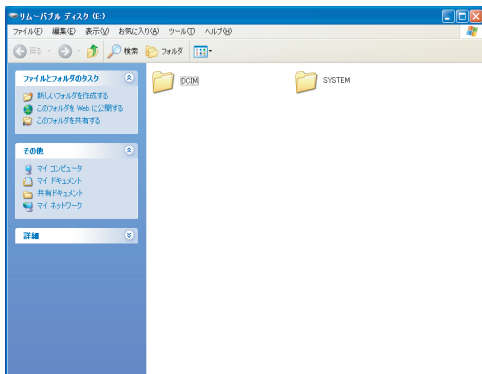
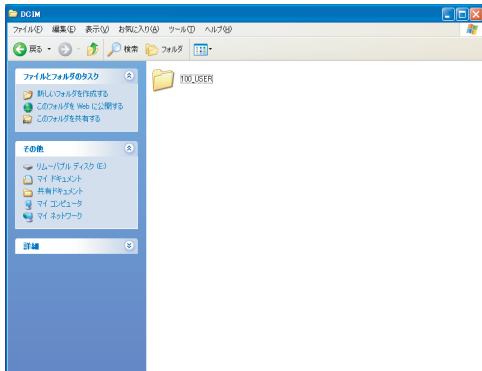
＊ほとんどのパソコンでは、PCMCIAカードは全体がスロット内部に隠れるまで奥に差し込みます。奥まで差し込むためには、本製品を多少強く押し込む必要がある場合があります。本製品が全く認識されない場合は、完全に奥まで差し込まれているかご確認ください。

(2)メモリーカードの読出し、書込み

本製品にメモリーカードを挿入すれば、「エクスプローラ」やプログラム(ワープロソフトやアルバムソフトなど)メモリーカードのデータを読出したり、新たに書込むことができます。

パソコンによっては、本製品にメモリーカードを挿入すると、自動的にプログラムが起動してデータを読出すことができるように設定されているものもあります。(下図は一例です)

こうした設定がなされていないパソコンで、メモリーカードの写真データを読出す場合を例に使用方法をご案内します。
(更に詳しい使用方法や、その他の使用方法については、パソコンや各デジタル機器、各プログラムの説明書をご覧ください)

① 「デスクトップ」上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックしてください。（デスクトップ上に「マイコンピュータ」アイコンが表示されていない場合は「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」を選択してください。

② 「マイコンピュータ」ウィンド内の「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックしてください。（下図は一例です。パソコンによっては複数の「リムーバブルディスク」アイコンが表示されている場合があります。その場合、新しく追加された「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックしてください。また、デバイスドライバーをインストールすると、アイコンは「リムーバブルディスク」ではなく専用のカラーアイコンに変わりますので、探し易くなります）

③ メモリーカード内部のデータが表示されます。（下図はカメラ付携帯電話のメモリーカードの例です。ご使用になる機器によって、表示がことなります）一般的にデジタルカメラやカメラ付携帯電話では「DCIM」フォルダの下に写真データが保存されます。「DCIM」フォルダをダブルクリックしてください。

④ 更にサブフォルダで管理している場合があります。（下図の例では「100_USER」フォルダ）サブフォルダのアイコンをダブルクリックしてください。

⑤ メモリーカードに保存されている写真データ（下図の例では「PIC_001」と「PIC_002」）が見つかりました。ドラッグアンドドロップでハードディスクにコピーしたり、他のプログラムから操作・編集することができます。

ご案内

＊メモリーカード内には、デジタル機器（携帯電話など）が使用する、システムデータが含まれている場合があります。誤操作によりこうしたデータを移動・削除するとメモリーカードがデジタル機器で使用できなくなったり、住所録などの設定が消滅してしまう恐れがありますので、データの移動・削除にはご留意ください。

＊本製品は著作権保護（マジックゲートやセキュアデジタルなど）には対応しておりません。本製品を使用して著作権保護対象データを操作・編集・コピー・移動すると元のデータが使用できなくなる恐れがありますのでご注意ください。

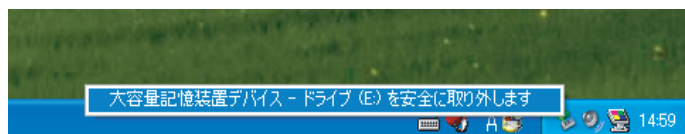
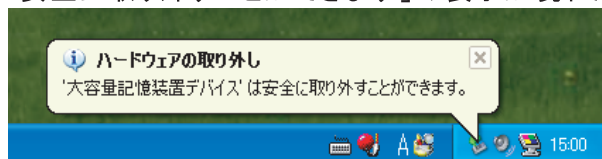
＊こうしたトラブルを防止するためにも、データの移動や消去はデジタル機器上でご実施頂くことを推奨いたします。

＊メモリーカード内のデータの種類によっては、表示したり編集するために別途専用のソフトウェアが必要になる場合があります。また、パソコンでの使用に対応していない場合もあります。写真以外の特定のデータが正常に表示・編集できない場合はデジタル機器の取扱説明書を合わせてご確認ください。

＊データの消失・破壊の恐れがありますので、データの読出し・書込み中は本製品やメモリーカードをパソコンから外したりしないでください。

（3）本製品の取り外し方

正しい手順で取り外しを行わないと、メモリーカードの故障やデータの消失・破壊の原因となることがありますので、ご注意ください。

①「タスクトレイ」（パソコン画面右下）の「ハードウェアの取り外し」アイコンを左クリックして、取り外すドライブを選択してください。（下図はWindows XPの場合です。パソコンによっては複数のドライブが選択できる場合があります。本製品を確認の上、選択してください）

②「安全に取り外すことができます」の表示が現れたら、本製品をパソコンから取り外してください。

2. Macintoshでの使用方法

必ずメモリーカードを本製品に差し込んでから、本製品をPCMCIAスロットに差し込んでください。本製品を単体でパソコンのPCMCIAスロットに挿し込み、メモリーカードを後から本製品に差し込むと、メモリーカードは正常に認識されません。（本製品はMac OS X以降に対応します）

（1）初めて本製品をご使用になる場合

本製品にご使用になるメモリーカードを差し込んでから、パソコンのPCMCIAスロットに差し込んでください。

自動的に認識され使用できるようになります。デスクトップ上に新しいドライブアイコンが表示されれば使用可能です。本製品単独で、メモリーカードを挿入せずにMacintoshに接続してもドライブアイコンは表示されません。

＊メモリーカードを差し込む際は、メモリーカードを差し込む向きや裏表を間違えないよう本製品のラベル表示を参考に行ってください。裏表を間違えて差し込むと本製品を破損する恐れがあります。

＊miniSDカード、メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duo、RS-MMCをご使用になる場合は、必ず専用アダプタを使用して標準のメモリーカードサイズでご使用ください。アダプタを使用しないとメモリーカードが取り出せなくなったり、本製品を破損する恐れがあります。

（2）メモリーカードの読出し、書込み

ドライブアイコンが表示されれば、「Finder」やプログラム（ワープロソフトやアルバムソフトなど）から、メモリーカードのデータを読出したり、新たに書込むことができます。

メモリーカードの写真データを読出す場合を例に使用方法をご案内します。（更に詳しい使用方法や、その他の使用方法については、パソコンや各デジタル機器、各プログラムの説明書をご覧ください）

ご案内

* メモリーカード内には、デジタル機器（携帯電話など）が使用する、システムデータが含まれている場合があります。誤操作によりこうしたデータを移動・削除するとメモリーカードがデジタル機器で使用できなくなったり、住所録などの設定が消滅してしまう恐れがありますので、データの移動・削除にはご留意ください。
* 本製品は著作権保護（マジックゲートやセキュアデジタルなど）には対応しておりません。本製品を使用して著作権保護対象データを操作・編集・コピー・移動すると元のデータが使用できなくなる恐れがありますのでご注意ください。
* こうしたトラブルを防止するためにも、データの移動や消去はデジタル機器上でご実施頂くことを推奨いたします。
* メモリーカード内のデータの種類によっては、表示したり編集するために別途専用のソフトウェアが必要になる場合があります。また、パソコンでの使用に対応していない場合もあります。写真以外の特定のデータが正常に表示・編集できない場合はデジタル機器の取扱説明書を合わせてご確認ください。
* データの消失・破壊の恐れがありますので、データの読出し・書込み中は本製品やメモリーカードをパソコンから外したりしないでください。

（3）本製品の取り外し方

正しい手順で取り外しを行わないと、メモリーカードの故障やデータの消失・破壊の原因となることがありますので、ご注意ください。

① 本製品のドライブアイコンをドラッグアンドドロップで「ゴミ箱」に移動してください。

② 「取り出すことが可能です」の表示が現れたら、本製品をパソコンから取り外してください。

3. 電波障害自主規制の技術適合について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

受信障害に関する取扱説明：

この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用して、受信障害が発生した場合は、この装置をそれら受信機から十分離して使用してください。

■記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■本製品に関するお問合せは

イメーション株式会社　テクニカルセンター

〒158-0097　東京都世田谷区用賀4-10-1　世田谷ビジネススクエア　タワー8F
フリーダイヤル（通話料無料）0120－81－0536
受付時間　9:00～12:00／13:00～17:00（土、日、祝日は除く）

■デバイスドライバーやソフトウェアの最新版やサポート情報は

http://www.imation.co.jp